

「F15は飛行停止」目の前通過

県幹部が記者に説明中

嘉手納町長ら米軍に憤り

【中部】風防ガラスの落下事故を受け5日、県の親川達男基地防災統括監が「米軍が飛行を停止している」と記者団に説明した直後、目の前をF15戦闘機が通過した。親川氏は驚きを隠せず、地元からも「あまりに無神経」と怒りの声が

上がった。(1面参照) 飛来したのは嘉手納基地に所属していないF15、5機だった。午後3時15分ごろ、親川氏が同基地で事故への抗議を終え、ゲートの入り口で記者団に「F15は飛行を停止している」と米軍側の対応を説明した直後

だった。記者団が海側から同基地に向かうF15に気付くと、親川氏は「あれ、F15ですか」と表情をこわばらせて絶句。動揺した様子で「確認してみます」と述べ、同基地を後にした。

嘉手納基地報道部によると、別の基地所属のF15が、町議会基地対策特別委員

訓練のため嘉手納を経由。6日始まる高校入試の最中は、静かになるようすべての飛行機が注意を払うだろうとしている。

富山宏嘉手納町長はF15の飛来について、「住民に対してあまりに無神経」と憤る。「事故機だけでなくすべての機体の問題がある可能性も考えられる。飛行を自粛するなら同型機すべて自粛しなければ意味がない。違う部隊という理屈は通らない」と語気を強めた。

会の奥間常明委員長も「到底容認できない」と納得いかない様子。「これまでも事故のたびに原因公表など

を求めてき 回答は得られ 命軽視や差 のでもない